

川學叢書

第八編

團二社支店印行

172  
9  
707

K110.7  
50  
8

大日本教育會圖書部			
室	第		
一	三		
四	六	六	六
冊	號	架	國

明治十九年四月七日内務省贈付

緒言



一 拙著ヲ撰スハ授上最モ緊要ナルトナ  
 ス若シ之ヲ誤リテ夜ラニ冗長繁錯ナルモノヲ  
 以テ兒童ノ苦メハ其發達ノ性ヲ妨ケ終  
 ニ之ヲ厭忌スルメ合テ生セシムヘシ故ニ此編公專  
 一 画學ノ教授法ニ基キ總テ卑野ナルヲ避ケ愛  
 スキヲ採リ解シ難キヲ忝リ目ニ慣レタルヲ  
 撰シ平易簡潔ナルヲ主トシテ一ニ兒童ノカニ  
 適シク二ニ成人ノタリ故ニ夫ノ杜撰ニ集寫シテ  
 教授法ノ類ニテ若クハ洋版ヲ翻刻シ  
 テ其精神ヲ失フノ類トハ識者自ラ其異ナ  
 ル所アルトヲ知ル可シ

一 第一編ヨリ第七編ニ至ルマテ木版ヲ用ヒ  
 第八編ヨリ以下石版ヲ用ルハ初學ノモノ  
 入門ノ際ハ筆ヲ使フコト堅固ニシテ明白ナ

ラシムルコトヲ習熟セシノ稍々運筆ノ自在ヲ得ルニ及シテ線條ヲシテ韻致ヲ生セシメント欲スレハナリ

一此編名称ヲ掲クルモノハ傍ラ洋語ヲ挾ミテ臨画ノ際傍ラ單語ヲ習熟セシメント欲ス是又編者ノ微意ノミ

一此編頗ル外貨ヲ装フコトヲナサス專ラ簡畧ヲ主トセルハ山村僻邑ニ至ルマテ画學ノ切ヲシテ洽子カラシメント欲スレハナリ

明治十九年二月

編者識

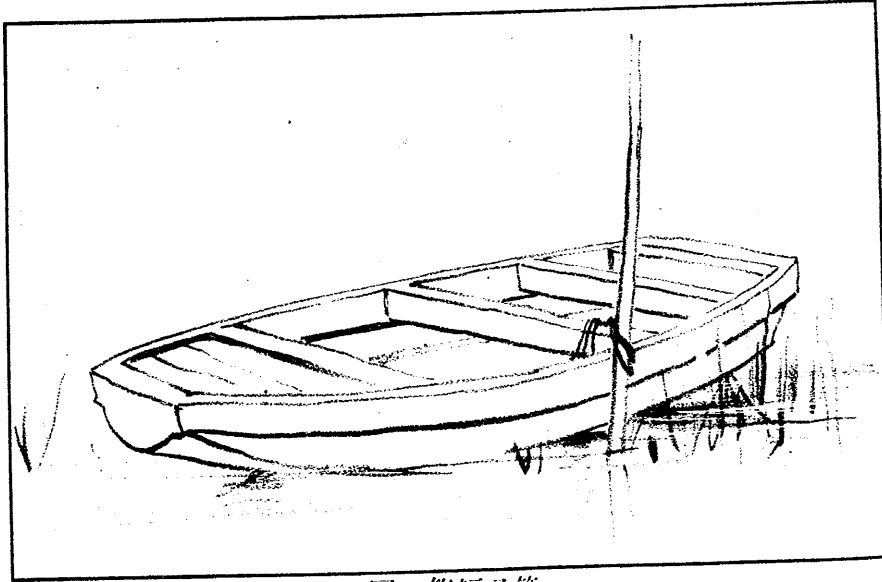
### 臨畫心得

一画ヲ臨スルニハ須ラク原本ニ模倣シテ今毫モ違フコトアル可ラス

一画紙ハ臨本ト同状ノモノヲ用フヘシ若シ紙幅ヲシテ放  
大ナラシムル片ハ畧其比例ヲ同ウスヘシ但シ其大サヲ  
臨本ヨリ縮小セサルコトヲ要ス

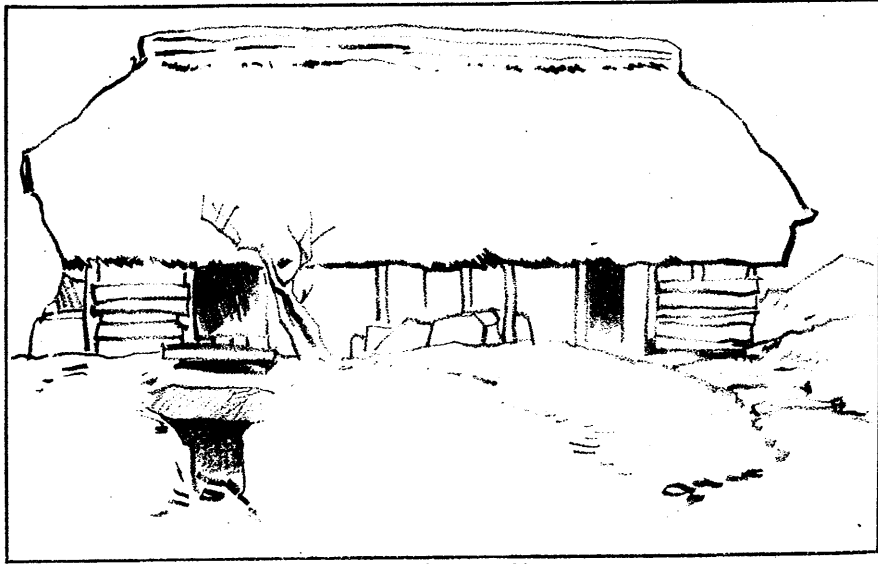
一総テ画ヲ臨スルニハ先ツ虚線ヲ以テ其位置形状ヲ  
定メ次ニ大体ヲ組立ル所ノ諸線ヲ画キ而テ細小  
ノ部ニ及ホス可シ然ル後彈性脂ヲ以テ一同ニ揩拭ニ僅  
ニ筆痕ヲ餘スヲ以テ度トナシ然ル後實線ヲ施スヘシ  
一虚線ヲ画クニハ其實稍々堅硬ナル鉛筆ヲ尖銳ニシ  
筆ヲ使フコト輕カラシメテ麁麁或ハ彈性脂ヲ以テ揩  
拭シ易カラシム可シ

一筆ヲ下タスハ左ノ方ヨリ始メ漸次ニ右ノ下方ニ画キ終  
ルヘシ然ラサレハ運筆ノ際紙面ヲ穢スニ至ル可シ

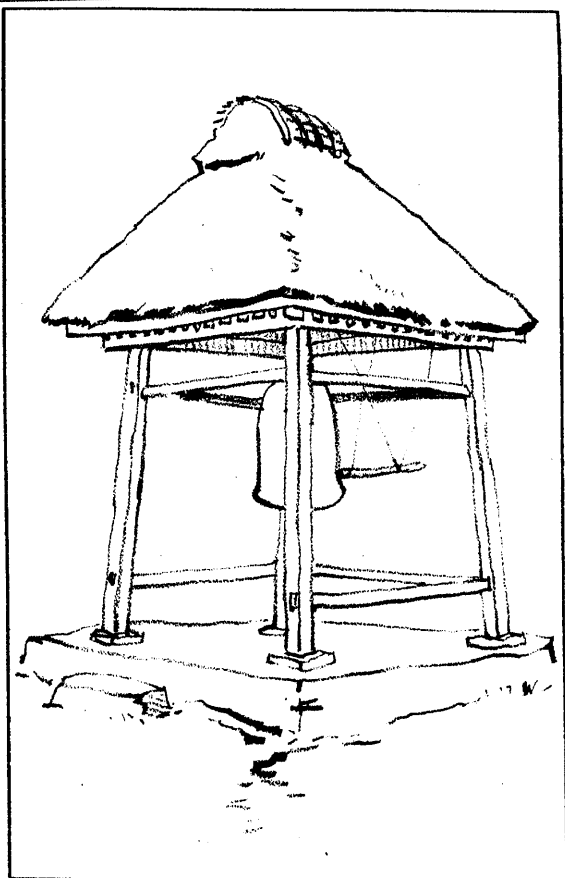


圖一第編八第

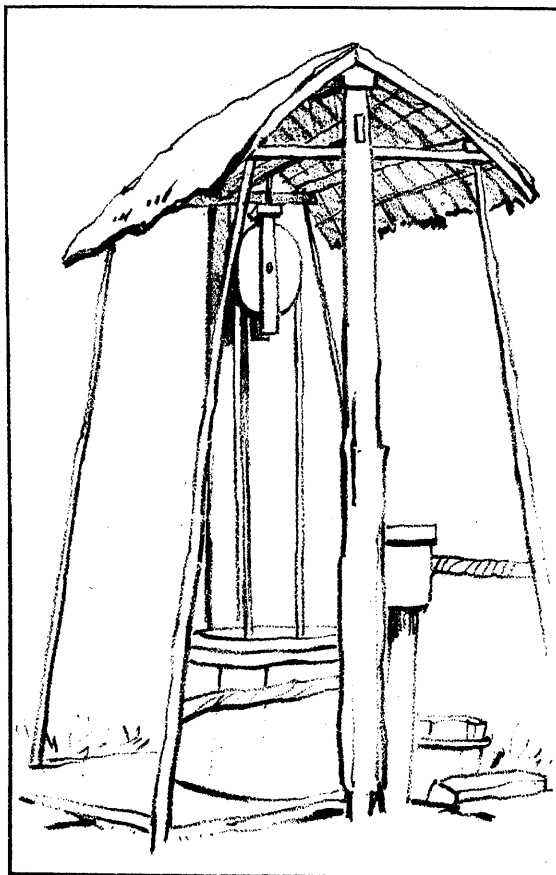
一筆ヲ執ル宜シク直立ナラシム可シ若シ之ヲ傾ケテ  
其側辺ニ於テ画クイヲナセハ線條薄弱ニシテ生氣ヲ  
失フ可シ



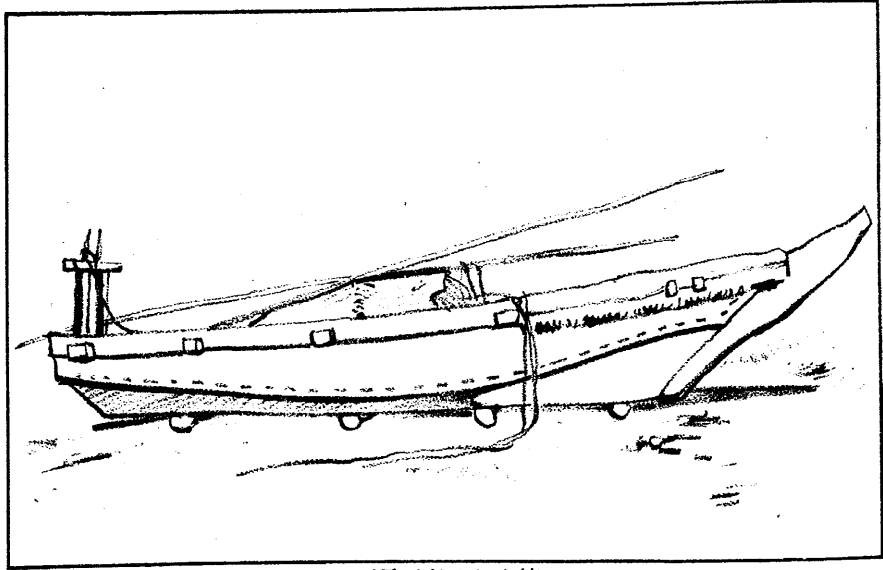
圖二第編八第



圖三第編八第

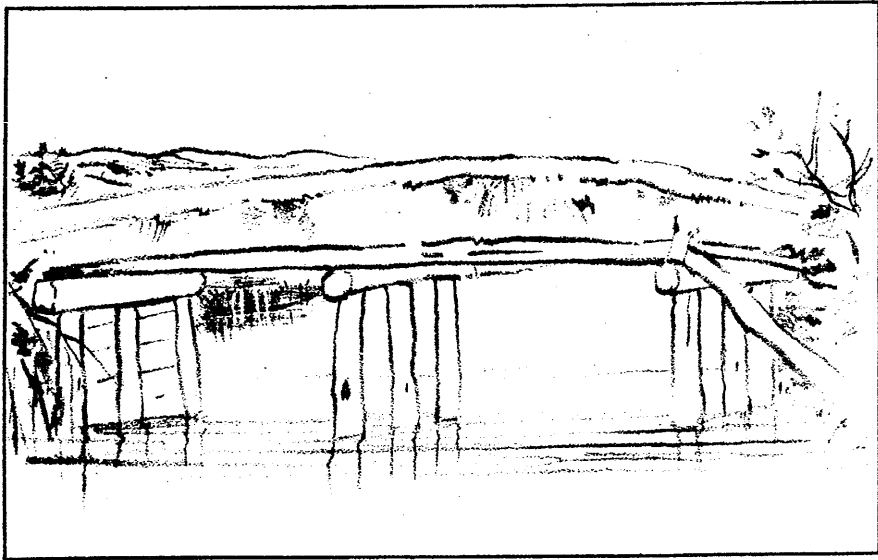


圖四第編八第

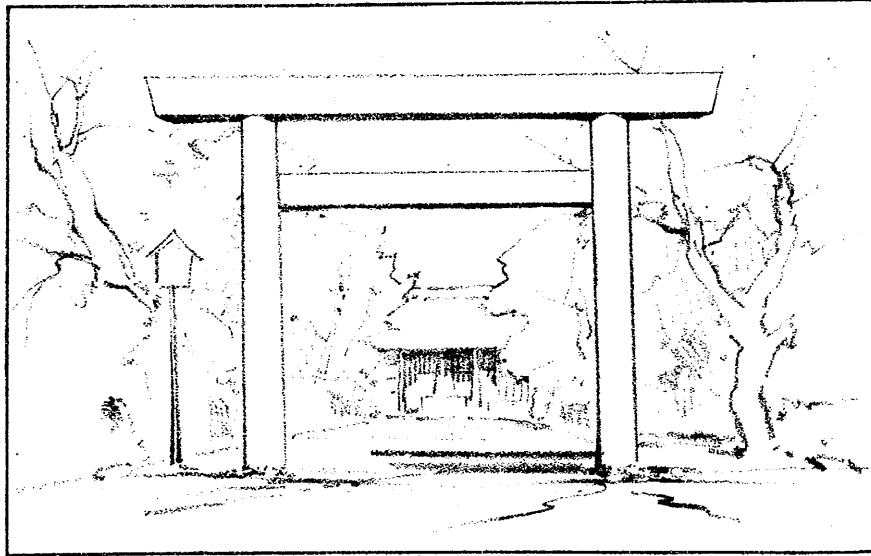


圖五第編八第

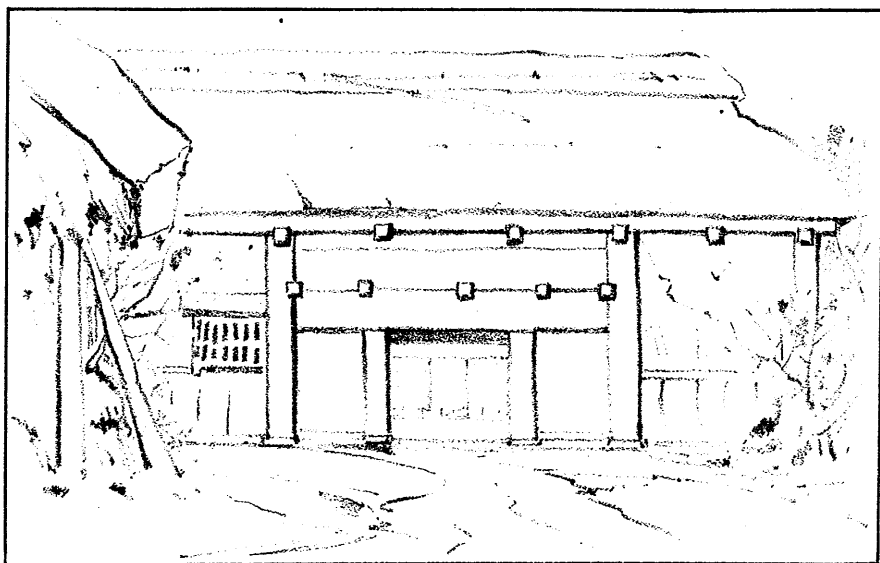




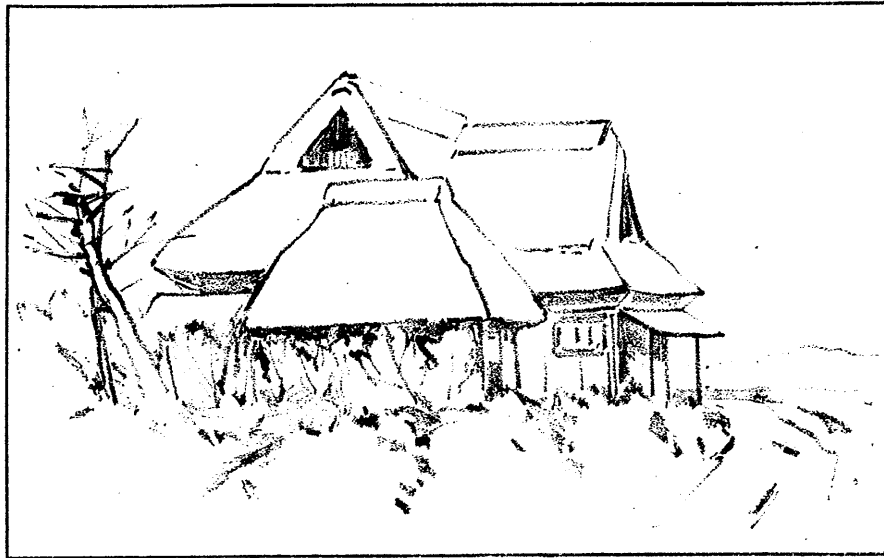
圖六第編八第



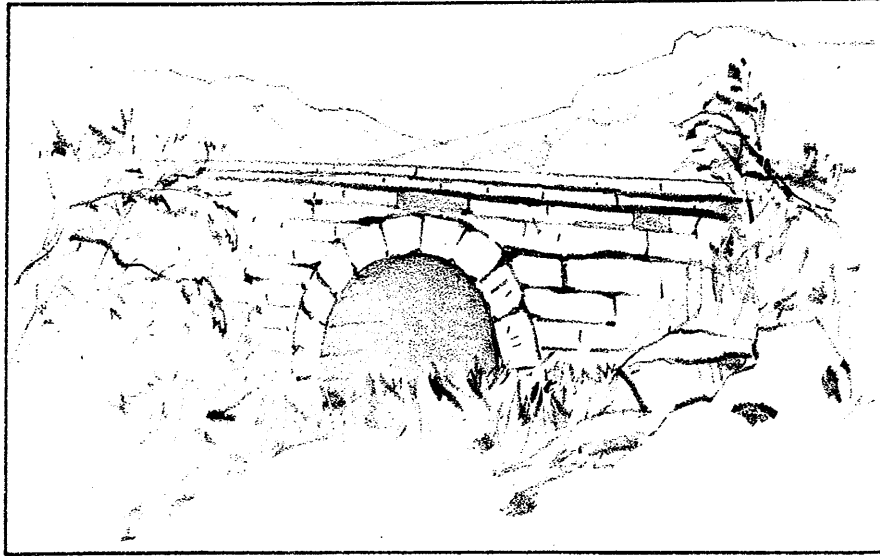
圖七第編八第



圖八第編八第



圖九第編八第



圖十第編八第

全篇目次

- 第一編 直線曲線及  
單形 第二編 紋画
- 第三編 花葉前画 第四編 器具前画  
畧画
- 第五編 家屋橋梁寺 第六編 器具輪廓  
前画畧画
- 第七編 全前 第八編 家屋橋梁等  
輪廓畧画
- 第九編 器具施影 第十編 花卉施影  
畧画
- 第十一編 果物施影畧画 第十二編 樹画畧画
- 第十三編 景色畧画 第十四編 全前
- 第十五編 禽獸虫魚 第十六編 人物畧画  
畧画

明治十九年一月廿三日 版權免許  
全 年四月 出版

定價金四錢

著者

東京府士族 本 及 錦 吉 郎

生 込 區 新 小 川 町 三 丁目 七 番 地

出版人

全

榎本徹之助

神田區雉子町卅二番地

